

2023年11月・大都市財政に係る党派別要望（熊本市の要望内容）

熊本市からは、本市独自の課題について要望させていただきます。

(1) T S M C 進出に伴う地下水保全

国が莫大な補助金を出して熊本に台湾企業・TSMC を誘致しました。また、第2工場を第1工場周辺に誘致をする方向ですすめられています。第1工場では、1日8,500トンを汲み上げると公表されており、第2工場も同規模とみられているので同じような規模での工場用水が使用されるものと思われます。熊本県は、汲上げた量に相当する地下水涵養を行うと言っていますが、具体的な涵養の中身について数値も含めた計画は示されていません。これまでも減っていく地下水を涵養するためにと、白川中流域での水田湛水事業が行われてきており、その面積や期間をどの程度拡大できるのか不透明です。しかも、熊本市の人口74万人のすべての水道水を地下水で賄っている、その涵養域である白川中流域の菊陽町に第1工場で23ha、第2工場まで含めれば2倍の面積を開発すれば涵養域面積が大きく減ります。2つの工場で1兆円を超える

(2) 自衛隊機地下化・土地利用規制法に基づく区域指定

(3) 植木病院を公立病院再編から外す

新型コロナ禍に重要な役割を果たしてきたのが公立病院です。ところが、熊本市立の植木病院は政府の公立病院再編計画に入っています。